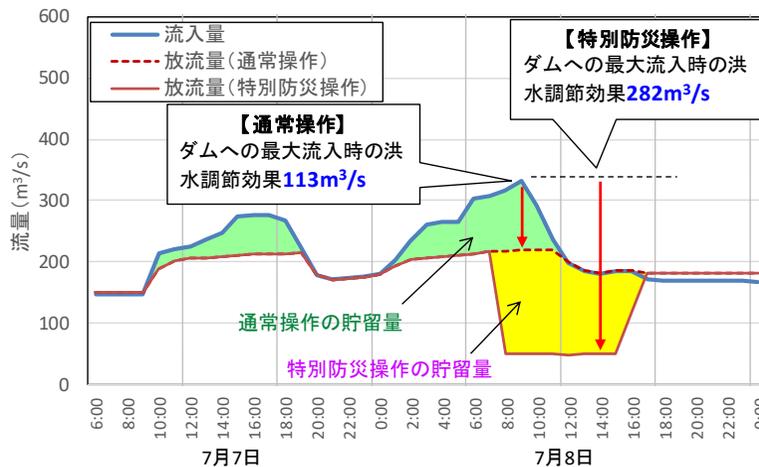


# 令和2年7月豪雨 信濃川水系大町ダムの効果【特別防災操作】

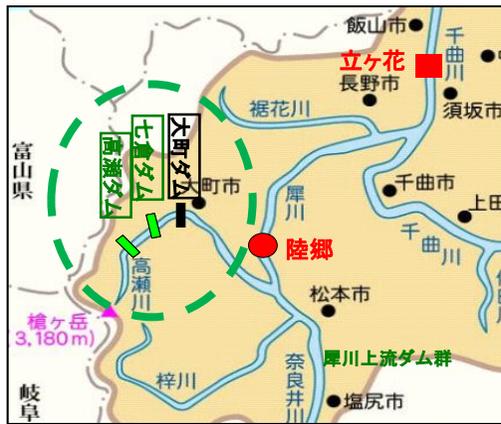
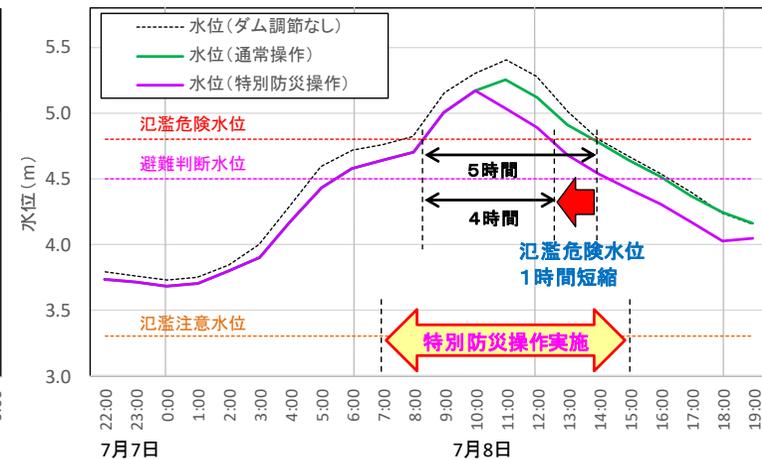
- 梅雨前線に伴う豪雨により、大町ダム下流の犀川において、氾濫危険水位を超過し、浸水被害が発生する恐れが生じたため、河川管理者の要請により特別防災操作<sup>(※)</sup>を7月8日7時から15時まで実施。
- 特別防災操作により最大282m<sup>3</sup>/sの洪水調節を行い、大町ダム下流部(陸郷水位観測所:長野県安曇野市陸郷地点)の河川水位の上昇を最大8cm低減するとともに、氾濫危険水位以上の洪水継続時間を約1時間短縮。

※ダム下流の河川管理者、自治体等からの要請を受け、ダム下流河川の被害軽減等を目的として実施する操作。

【特別防災操作（実績）による調節効果】



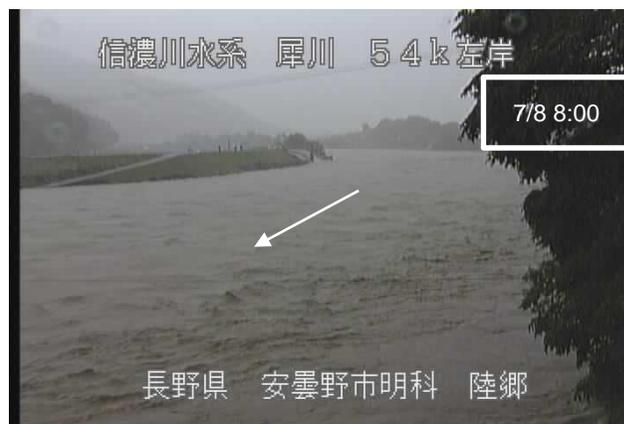
【陸郷水位観測所の水位経過】



大町ダム位置図



出水状況① (犀川左岸59k付近安曇野市塩川原地先)



出水状況② (陸郷水位観測所)

